

# H-1ページ

(法第10条第1項第7号)

## 2021年度の事業計画書

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

### 1 事業実施の方針

①の事業では、犬猫合計1,000頭以上を引き取り保護することを目標とする。これを実現するために人員の確保および教育の強化を実施する。

②の事業では、犬猫合計1,000頭を新しい飼い主に譲渡することを目標とする。  
また引き続き譲渡が困難な成犬や成猫の対策を強化するため、成犬100頭と成猫50頭の譲渡を目標とする。  
なお、飼育管理能力の指標として、譲渡までの犬の滞在日数30日以下、死亡率5%以下、  
猫の滞在日数60日以下、死亡率10%以下を目標とする。

③の事業では、情報発信を強化し、より多くの対象者に情報を届けることを目標とする。

④の事業では、①で保護した動物のほか、50件の外来不妊手術実施を目標とする。

⑤の事業では、従前のとおりより良い情報発信を目標とする。

⑥の事業では、新規事業を立ち上げるための準備を行う。

⑦の事業においては、単に収益をあげるのではなく、事業を通して飼い主と動物にとってより良い生活の助けとなる保険代理業を実施する。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
①行政施設で殺処分される犬猫を引き取り保護・飼育する施設(アニマルシェルター)を運営する事業	保健所や愛護センターなどの行政施設で殺処分直前の犬猫を施設に保護して、譲渡のための健康管理やしつけ等を行う。 また、譲渡が困難な犬猫については、施設で生涯飼育する。	随時	法人事務所	12名	千葉県、茨城県、福井県、静岡県、山梨県、船橋市、柏市の7自治体。

## H-2ページ

②行政施設から引き取った犬猫に不妊手術を施し、新しい飼育者へ譲渡する事業	前記事業で保護した犬猫たちに不妊手術を施し、新しい飼い主に譲渡する。	随時	全国	10名	・犬猫の飼育を希望する不特定多数
③幼齢避妊去勢手術の普及と犬猫の適正な飼育を啓発する事業	団体ホームページで犬猫の飼育に関する情報提供や啓発を行う。	随時	法人事務所	2名	不特定多数
④幼齢避妊去勢手術を主たる目的とした動物病院事業	団体が保護中の犬猫の不妊手術および、保護団体や個人が保護する犬猫を対象に、幼齢不妊手術外来を提供する動物病院を運営する。	随時	法人事務所附属の動物病院	5名	・犬猫を保護する団体や個人。 ・50件の外来不妊手術実施を目標とする。
⑤この法人の特定非営利活動に係る事業に関する情報提供・サービス事業	主にインターネットを通じて、前記事業すべてに対する情報発信を行う。	随時	法人事務所	3名	不特定多数
⑥その他この法人の目的の達成のために必要な事業	新規事業を模索し、開拓し、立ち上げるために必要な調査・研究・準備等を行う。	随時	全国	1名	不特定多数

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定期日時	実施予定場所	従事者の予定人数
⑦損害保険代理業	事業を通して飼い主と動物にとってより良い生活の助けるとなる保険代理業を実施する。	随時	法人事務所	2名

以上

NPO 法人犬と猫のためのライフポート

2021 年度 事業計画書

**<この事業計画書について>**

この文書は、当団体を応援してくださる皆様によりわかりやすいメッセージをお届けするために、行政機関に提出する書式とは別に作成しているものです。なお 2021 年度事業計画も、前年度までに未達のものを推し進めるため大きな主旨に変更はありません。

**<犬と猫の保護と譲渡について>**

前年度に引き続き犬猫合計 1,000 頭を譲渡目標とします。

また上記のうち、前年度未達の成犬は 100 頭、前年度同様に成猫は 50 頭の譲渡も目標とします。

当団体はこれまで子犬子猫を中心に沢山の犬猫を保護して、一日でも早く新しい飼い主さんを探すこと

で救命数にこだわる活動を行って参りました。そしてそれはこれからも変わりません。

しかし近年、譲渡が困難な犬や猫を保護する機会が増え続けています。その理由は後述しますが、いずれにしてもこうした犬猫たちを譲渡するためには一頭一頭に相当の時間をかけることが必要です。また施設の物理的な制約もあることから対策が急務となっています。

これまで同様一頭でも多くの犬猫を救いながら、譲渡が困難な子たちの救命にも一層力を入れて参ります。

犬猫別の目標は設定せず、合計で 1,000 頭とします。

ただし体調管理等のノウハウが違うため、飼育指標目標は犬猫別に設けました。

目標	受入数	譲渡数（うち成犬・成猫）	滞在日数	死亡率
犬	-	-	30 日以下	5%以下
猫	-	-	60 日以下	10%以下
合計	1,000 頭 (100 頭・50 頭)			

**<譲渡が困難な成犬・成猫の対策について>**

2020 年度に引き続き下記を進めて参ります。

**犬**

## H-4ページ

- 怖がりな犬の人慣れ訓練や性格の把握など、もらつてもらう上でのメリットを増やす施策
- ウェブサイトやSNSなどを通じて知つてもらう機会を増やすとともに、里親になるというアクションを起こしてもらうための施策。
- 怖がりな犬の逸走時の発見を少しでも容易にするためのGPS首輪の開発や導入。
- 上記を実施するためのスタッフの確保やレベルアップ、ボランティア募集など。

## 猫

- ウェブサイトやSNSなどを通じて知つてもらう機会を増やすとともに、里親になるというアクションを起こしてもらうための施策。
- 面会環境の改善や情報発信など、成猫やハンディキャップのある猫たちの魅力も知つてもらうための施策。

## <人材教育・人材活用の強化について>

以前からの課題であった人材の確保を進めるために、2019年度からスタッフの教育強化に着手しました。これまでには忙しさにかまけて「見て覚えてもらう」という方法を取らざるを得ませんでした。しかし価値観が多様化する中、これまでのような仕事の教え方が困難な場面も増えてきました。そこで昨年度は幹部スタッフの指導力を強化し、現場スタッフの成長を促す試みを始めました。ようやく芽が出始めたところですので2021年度も引き続き実施して参ります。

## <外来不妊手術について>

2021年度の外来不妊手術目標も年間50頭とします。主に個人で活動する方の力になれるように継続いたします。

## <施設設備の改善や新設について>

皆様のご支援を受けて2011年に施設を移転してから早いもので10年が経とうとしています。現施設は事業用地として10年間の定期借地権（賃貸住宅のような自動更新が無い）での契約のため、本年度はこの再契約を取り付けることに注力いたします。それまでは施設設備はメンテナンスにとどめる予定です。知見としては共通することも多いため、同時並行で新たな施設開設の情報収集も進めて参ります。

## <新型コロナへの対応について>

ようやく医療従事者や高齢者など一部のワクチン接種が開始されましたが、全国民的な解決までにはま

## H-5ページ

まだ長い時間がかかる見込みです。現場を持つ団体の矜持として感染対策を行った上で積極的に活動を続けて参ります。

以上が2021年度の事業計画です。

これからも皆様のご支援・ご声援をよろしくお願ひいたします。

2021年5月22日

NPO 法人犬と猫のためのライフボート

理事長 稲葉友治